

## 4 感染症集団発生及び臨時休業

## 鳥取県内における感染症集団発生及び臨時休業(表16参照)

令和6年の鳥取県での感染症集団発生は、感染性胃腸炎49件、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎4件、RSウイルス感染症12件、咽頭結膜熱5件、手足口病33件、マイコプラズマ肺炎1件報告があった。このうち、手足口病は前年度と比べて29件増加した。

感染性胃腸炎は1月から5月まで、手足口病は10月に17件と集団発生報告が多くあった。また、感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが2件、その他(原因不明も含む)が16件であり、ロタウイルスによるものは0件であった。

インフルエンザによる臨時休業は213件、集団発生は99件であり、前年度と比べてそれぞれ212件の減少と56件の減少であった。

新型コロナウイルス感染症は、326件集団発生報告がありインフルエンザより多かった。

表16 鳥取県内における感染症集団発生及び臨時休業

令和6年12月31日 現在  
※( )は前年数値

疾患名	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		計		
	発生	(前年)	発生	(前年)	発生	(前年)	発生	(前年)	発生	(前年)	発生	(前年)	発生	(前年)	発生	(前年)	発生	(前年)	発生	(前年)	発生	(前年)	発生	(前年)	発生	(前年)	
1. 感染性胃腸炎	7	(4)	11	(9)	13	(7)	2	(14)	6	(5)	2	(3)		(1)		(1)		(1)	1	(1)	3	(1)	4	(2)	49	(49)	
再掲	ノロウイルス	6	(4)	7	(6)	10	(6)	1	(2)	3		1	(1)					(1)	1		1	(1)	3		33	(21)	
	ロタウイルス				(1)																				0	(1)	
	サボウイルス																								0	(0)	
	その他(原因不明も含む)	1		4	(2)	3	(1)	1	(12)	3	(5)	1	(2)		(1)		(1)				(1)	2		1	(2)	16	(27)
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1								1			(1)						2							4	(1)	
3. RSウイルス感染症									3	(2)	1	(1)	5	(8)	1		2									12	(11)
4. 咽頭結膜熱	1				1		1		2	(1)													(1)		5	(2)	
5. 手足口病											1	(1)	5	(1)	2	(1)	6	(1)	17		2					33	(4)
6. ヘルパンギーナ												(3)														0	(3)
7. 水痘																										0	(0)
8. 流行性角結膜炎																										0	(0)
9. マイコプラズマ肺炎																							1		1	(0)	
10. インフルエンザ	臨時休業	36	(4)	51	(4)	25	(6)	1		2	(3)		(1)		(1)			(38)	(107)	10	(161)	88	(100)	213	(425)		
	集団発生	17	(2)	8	(7)	11	(10)	3	(4)		(4)			1		2	(2)		(6)	(21)	5	(48)	52	(51)	99	(155)	
11. 新型コロナウイルス感染症	57	-	67	-	24	-	16	-	13	(3)	14	(16)	50	(46)	22	(60)	35	(59)	12	(11)	6	(17)	10	(17)	326	(229)	

※新型コロナウイルス感染症は5類移行後(令和5年5月8日以降)の集団感染事例